

PDF図面→CAD変換サービス

PDF図面の有効活用、あきらめていませんか？



- ・PDF形式で配布された発注図や見積図を、CADデータとして活用したい。
- ・PDF図面へCADで加筆して、出来形図を作成したい。
- ・PDF形式でしか残っていない図面から、改修用図面を作成したい。

青工が解決します！



今までは「閲覧・印刷」しか出来なかったPDF図面を、CADデータに変換することによって「編集・加工」が、出来るようになります。これまでのCADで図面を描き直す作業が不要になるので、作業効率が大幅にアップします。



PDFから変換可能なCADの種類は

・一般的なDWG・DXF形式のほか、以下のCADのデータ形式への変換が可能です。

- | | | |
|------------|--------------|--------------|
| ・AutoCAD | ・DRA-CAD | ・Vectorworks |
| ・ARCDRAW | ・DynaCAD | ・V-nas |
| ・BLUETREND | ・Jw_cad(JWW) | ・図脳RAPID |
| ・CADPAC | | |



PDF図面は大きく分けて3種類



ベクター PDF (図形・文字)

- ・CADソフトやIllustratorなどのドロー系ソフトで作成されたPDFデータです。
- ・図形情報と文字情報を保持しているため、拡大表示しても滑らかなままです。



ベクターラスタ混在PDF (図形・文字・画像)

- ・ベクター(線分)とラスタ(画像)が混在したPDFデータです。
- ・位置図や写真等の画像データを貼り付けたCADデータをPDFに変換したデータです。



ラスタPDF (画像)

- ・Photoshopなどのペイント系ソフトで作成したPDFデータも、この種類になります。
- ・スキャナーやデジカメ等で取り込んだ画像からなるPDFデータです。
- ピクセルの集合体なので、拡大表示すると粗く、ギザギザになります。

※このうち①、②は比較的精度良くCADデータに変換できます。詳細は裏面へ。



CADデータへの変換

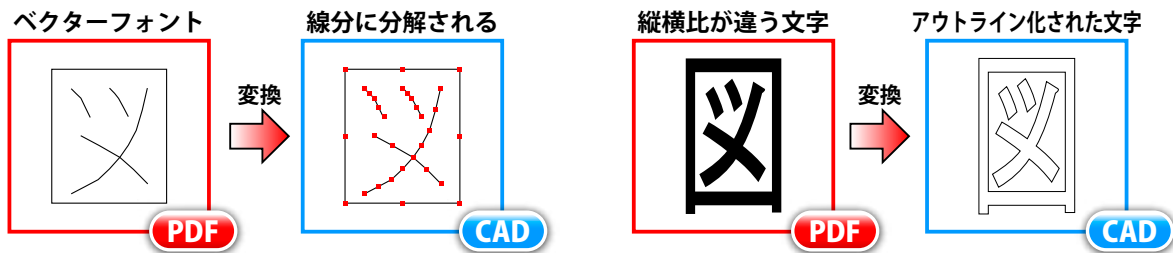
① ベクターPDFからの変換

- CADに変換後の図面の尺度は、PDFデータの用紙サイズの1:1となります。
- PDFが、レイヤー情報を保持している場合は、CAD変換後もレイヤーは保持されます。
- MS明朝やMSゴシックなどのTrueTypeフォントは、文字として変換されます。
- ベクターフォント（線文字）は、線分に分解されます。
- フォントの種類やPDF変換ソフトの種類によって、文字がアウトライン化（輪郭のベクトル化）された図形となります。また、縦横比（幅係数）が違う文字も、アウトライン化された図形となります。
- CAD変換後の図面精度は、元のPDFデータの作成時の設定解像度に影響されます。

変換誤差のめやす

解像度/dpi	最大誤差/mm
200	0.25
300	0.17
400	0.13
600	0.085

(PDF用紙サイズ)

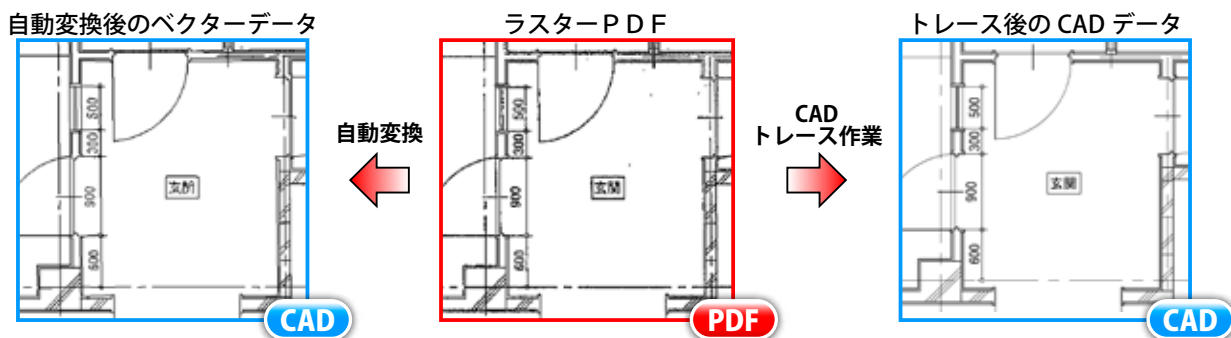


② ベクターラスタ混在PDFからの変換

- PDF内のベクター部分は、①のベクターPDFと同じ様に変換されます。
- PDF内のラスタ部分は、CADにリンクした画像 (JPEG) データに変換されます。
- 変換後のリンク画像は、読み込むCADソフトによりリンクが切れる場合があります。

③ ラスタPDFからの変換

- ベクトル情報をもっていないので、ベクター変換ソフトで、CADデータに自動変換します。
- 画像内の文字や記号も全て、線分に変換されます。
- 建築物等は、直交モードでも変換出来ます。
- 変換後の文字や線分の修正も行います (別途料金)。
- 高精度のCADデータが必要な場合は、CADトレース作業 (別途料金) をおすすめします。



その他

- DocuWorksデータからも、PDFデータからの場合と同様に、CADデータ変換が可能です。
- SXF形式 (P21、SFC) から各種CADデータへの変換も可能です。
P21形式で提供された発注図を、お手持ちのCADソフトで利用できるようになります。
- PDF文書のWord・Excel変換も出来ます (ラスタPDFを除く)。